

水稲冷害の教訓を活かして

今夏の低温、長雨による農作物の被害は相当大きく、中でも東北地方における水稲の障害不稔及び穂いもち病による減収は甚大で、深刻な状況であった。その実態の一部を10月初旬、宮城県北部（古川市～加美郡）で視察した。

例年であると、澄み切った青空の下に、黄金の穂波（日本の秋）を見ることが出来るが、その光景は古川市の平坦部迄であった。やや山手に行くと、ある圃場では稲穂は頭を下げるどころか、まだ天を向いており（障害不稔）、ある圃場では穂は茶褐色を呈し、穂首より直角に折れて枯死していた（穂いもち）。多くの圃場では、両者の症状が混り合っており、時々、小指大の黒い煤玉が散在する（稲こうじ）のがみられた。刈取られた稲株は青々とし、しかもしっかりとしていたが、穂は驚く程軽く、農家の声を借りれば「1俵にもならねえ！」という状況であった。

ほとんど収穫が期待出来ない圃場の前に立っていると、「自然の脅威」をまざまざと見せつけられるとともに、「飢餓」、「飢饉」という言葉が脳裏をかすめた。それは「飽食」への「神の怒り」とも感ぜられた。また、圃場は均一に被害を受けてはおらず、品種、肥培管理、特にいもち病防除の適否が関係深いようにみられた。

日本の稲作について過剰、減反、自由化、低コスト化、有機栽培等論じられている中で、この夏の冷害という大自然の教訓をどのように反映させるか我々の大きな課題だと思う。

最後になったが、被害を受けられた農家の方向に心より御見舞申し上げたい。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会 理事 松下広晴〕
クミアイ化学工業株式会社 常務取締役、営業本部長

目 次

（第 22 巻 第 8 号）

水稲冷害の教訓を活かして……………	1
＜財）日本植物調節剤研究協会理事 クミアイ化学工業㈱営業本部長 松下広晴＞	
水稲湛水直播栽培と雑草防除……………	2
＜埼玉県農業試験場 大塚一夫＞	
水稲の湛水土中直播栽培における雑 草防除……………	10
＜千葉県農業試験場 小山 豊・和田潔志＞	
水田畦畔用除草剤の水稲への薬害……………	17
トリフト害の予備試験 ＜宇都宮大学農学部 近内誠登・小笠原勝＞	
フィジーの稲作雑草とその防除をめ ぐる諸問題……………	25
＜東北農業試験場 原田二郎＞	
昭和62年度冬作（麦類・いぐさ・水 稲刈跡）関係除草剤・生育調節剤試 験成績概要……………	35
＜財）日本植物調節剤研究協会技術部＞	
民間研究所めぐり……………	43
塩野義製薬油日ラボラトリーズ	
植調協会だより……………	44